

山田としお 国政報告



第4号 [平成22年1月発行]

〒100-6826 東京都千代田区大手町1丁目3番1号
TEL 03-3286-3924 FAX 03-3286-3929
(山田としお後援会)



政権交代で役割増大
私の議員活動は、政権が交代し様変わりしました。ともかく野党になって役割が増えました。党の農林部会長代理、野菜果樹・畑作物等対策小委員会委員長、そして参議院政策審議会副会長、同時に国会対策委員会も担当しますので国会開会中は毎日の国対正副会長会議に出席します。委員会は、農林水産委員会理事として与党民主党との協議に時間を取られています。

最強野党議員として 農林業の復権に全力

で全販売農家を対象にすることで出されてきたものです。そして、地域の多様な担い手をつくり上げるための農地の利用集積をはかる補正予算までも停止しました。ところが、ここへ来て財務大臣等が対象農家を見直し、財源も削減すると言いだしてきており、それでは政権公約や政治主導はどこへ行ったのかということになり、ここでも混乱が生じてき

ます。参議院選挙を控え、今年も厳しい政治の年になります。与党民主党を上回る、期待にこたえる政策を打ち出し、皆さんに判断を求めます。そうした年にしなければなりません。私は、最強の野党議員として頑張ります。

政策で勝負

加えて、私の予算委員会での質問に対して、岡田外務大臣は「国益のため政治主導でWTO、EPAをすすめる」と、答弁しています。こうしたのめり込み姿勢で農業が無視されたのでは、たまたまのものでありませぬ。「所得補償があるから自由化してもいいんだ」というのでは、わが国農業は潰されます。

将来に禍根の恐れ

ところで政局は安定していません。総理や民主党・小沢幹事長の政治資金問題があることや、それを隠すための強引な国会運営が続き、政権公約の実現でも多くの点で整合性が取れず、混乱しています。米国との関係、アジアとの関係、財政問題、

雇用問題、景気低迷問題等々です。この国の将来に禍根を残すことは絶対に避けなければなりません。

戸別所得補償も公約倒れ

心配は、民主党の農業政策にもあります。戸別所得補償制度は、自民党の経営所得安定対策に對抗して、まさに「後出しじゃんけん」

自由化強行は許さず

ています。このままでは、わが国農業の将来展望を開き、地域農業をしっかりと支える農業者がいる元氣な農村をつくることに決しません。

地球温暖化

政権交代を印象づけるべく、鳩山総理は、国連総会で温暖化ガスの25%削減をカッコ良く演説しました。そのためには、技術の更なる開発や排出権取引も必要になります。とりわけ、農林業が果たす役割をきちんと踏まえた対策が求められ、国土の70%を占める森林や山村をどう生かすかが決め手になります。林道を整備し伐採した木材を搬出できるようにしなければなりませんし、林業の雇用を継続できるようにすることも必要です。命の道である交通の確保やテレビが視聴できる生活環境の整備、同時に、わが国の風土に合った国産材を使った住宅建築を普及することも欠かせません。まさに、農林業、森林組合、木材加工業、住宅建築・販売業、融資等が連携し、それを自治体や政府が支援する。また、新過疎法を成立させ、環境税も必要なのです。

演説だけでは済みません。私は、そうした仕組みの具体化に全力を挙げる決意でいます。

読みました



本日、「忙中、閑あり」で、一気に拝読させていただきました。山田さんの熱気が、ムンムン伝わってくる感じがしました。農業政策について、あらためて大変勉強になりました。民主党の政策と比べても説得性のある内容であると感じます。今後、ますますのご活躍をお祈りしております。

(株)東レ経営研究所常務理事 特別上席エコノミスト 高橋健治

戸別所得補償制度

自民党は、民主党のマニフェストの検証チームを立ち上げ、戸別所得補償制度のモデル実施案を徹底して検証しました。

政府の実施案は、全国平均の生産コストと、全国平均の販売価格の差額を、全国一律に定額で交付するものです。また、その年の全国平均の米価が低落した場合は、定額部分に加えて生産コストを下回った額を補てんするとしています。これらは、いわば生産調整の目標達成協力金のようなもので、地域の実情や各農家の規模、実態を反映して「戸別」に「所得補償」するものではありません。

畜産・酪農・野菜・果樹については、考え方も示していません。また、これまでの麦や大豆、さらには地域振興作物に対する助成金は全国一律にし、金額も引き下げられています。これも地域の実情を踏まえるものではありません。

戸別所得補償制度の良いところは良いところとして伸ばし、不十分な点は改善を求めていきたいと思えます。その場合でも、地域と農業者をともに元氣にする将来像を明らかにして臨まねばならないと考えております。

山田としおの 真剣勝負



私に対するご意見等ありましたら、ホームページの「ご意見・ご声援」欄を活用してお寄せいただければ幸いです。ホームページには「山田の近況」や「メールマガジン」も紹介されています。http://www.yamada-toshio.jp/のアドレスから簡単に入れます。

政権交代

9月の政権交代から4か月が経ちました。この間、補正予算の執行停止と返納、来年度予算の編成、鳴り物入りの事業仕分け、戸別所得補償制度のモデル実施などが矢継ぎ早に提案されました。

しかしながら、大幅に拡大する赤字国債、見通しのつかない景気低迷、深刻な雇用危機など、政局はこれからも安定しないことでしょう。

JAグループの皆さんからは、自民党が野党になったことで、今後、与党民主党とどう付き合うのかについて心配が出されています。

もともとJAグループは、農業者とその協同の組織として、これまでも与党自民党に対しても様々な要求をぶつけるなど極めて野党的だったわけで、民主党が与党になったからといって何ら変わらず、自信を持って農業者の切実な要求をぶつけければ良いのです。

作物は育ち、牛は子を産み牛乳を出す、鶏は卵を産む。作物も動物もどちらが与党で野党か知る由もありません。

国民の食の安定供給のために遠慮はしない。私も皆さんと一緒にしっかり主張します。そして最強の建設的野党議員になります。